

グレート・テイキング：いかにして彼らはあなたから全てを奪おうとするのか！（デヴィッド・ウェッブ監督作品）

Zusammenfassung / summary:

金融システムの制御された解体は、何十年も前から計画されていた！人類がマネーの追求に振り回されている間に、小さなエリートはすでに、私たちが所有するものすべてを使って、自分たちのために恒久的な権力を確保しているのだ。金融の高名な専門家、デビッド・ウェッブは現在、警鐘を鳴らしている：中央銀行の私的支配は、人類のすべての問題の源である！今こそ、金融界のリーダーたちの隠された策略を可視化する時だ……。まだ流れを変えられるから……。一緒に！

Sendetext / broadcast text:

すべての個人資産は、次の金融大暴落で一部の大銀行に帰属する危険性がある。死蔵された才能を収奪した結果、国民が知らないうちに法律が国内的にも国際的にも変更された。最近出版された著書『The Great Taking』の中で、高位の金融インサイダーであるデビッド・ウェッブは、なぜこのようなことが起こったのかを説明し、文書化している。しかも、史上最も壊滅的な金融大暴落が目前に迫っている。わかりやすく言えば、誰もがすぐにすべてを失う可能性があるということだ。しかし、デビッド・ウェッブもまた、チャンスと捉え、実行可能な出口を提示している。では、彼の言葉に耳を傾けてみよう。デビッド・ウェッブ著『The Great Taking』より抜粋：

私の名前はデビッド・ウェッブ。スウェーデンのストックホルムに住んでいる。アジア金融危機の余波を受け、ドットコムバブルとその崩壊を前にして、私は公募株式を運用し、最終的にはヘッジファンドを運用した。（ヘッジファンド＝リスクが増大するオルタナティブ投資のための投資ファンド）、（ドットコムバブル＝2000年3月に崩壊したインターネットの誇大宣伝が生んだ投機バブル）。少年時代、私はクリブランドの産業崩壊の始まりを目の当たりにし、何が私たちを破壊したのかを理解する必要性を感じながら成長した。なぜなら、それまでとても幸せで、幸福で、慈悲深い家族だった私の家族は、その影響を深く受け、私が育った場所を文字通り破壊してしまったからだ。それで経済学と金融学を学ぶことにした。

私はこの金融の世界では他の人たちとは違うと思う。なぜなら、私にとってお金は重要ではないからだ。私は常に物事を理解することに興味を持ってきた。そしてそれが、実は私のアドバンテージになっている。他の人が理解できないことも理解できた。2008年、私は初めてブローカー・ディーラー（証券取引所で顧客のために取引を行う個人または企業、証券およびデリバティブ取引の中心）の倒産に立ち会った。私がショックを受けたのは、このブローカー・ディーラーのさまざまな顧客口座が、ブローカーの破産総額から引き落とされていたことである。証券の歴史を通じて、証券は個人の財産であった。そこで私は、何が変わったのかを調べ始めた。これはアメリカの統一商法典の変更によるものだと言った。これは50州すべてで変更されていた。つまり、長期間にわたって静かに実施することができ、注目を集めるのを避けるために連邦レベルで実施する必要がなかったのである。これにより、担保請求権に新たな法的構成が生まれた。

そして2005年、アメリカで破産法の改正があり、セーフハーバーと呼ばれるものができた。（英語：Safe Harbor）。それも良さそうだ。しかし、「セーフハーバー」とは、被担保債権者が顧客の資産を安全に取り上げることができ、詐欺があった場合でも顧客の資産を絶対に手に入れることができるということを意味する。顧客の資金を預かる権限を持つのは、超大手銀行だけである。だから、誰にも干渉されたくないし、何かを奪われたくもない。それを手にするのは彼らだけだ。

所有権がより高いレベルに移され、束ねられた形で保有されるように制度が変更された。特に危機に際しては、制度の債権、すなわち被担保債権者の債権を履行するためである。そうなれば、最も洗練された金融機関や年金基金など、自分たちが守られていると思っていた人々は、もはや何の保護も受けられなくなる。そして、被担保債権者はすべての株式と債券を差し押さえ、すべての公開企業を支配することになる。彼らはこれを、自分たちの意思で物事を奪えるように構築している。ローンを組んでいない人や会社から担保としてすべての有価証券を取ることができるが、すべてを明確かつ明白に所有する。

このプロセスの恐ろしさを説明するために、例え話をしよう：だから、あなたは車を現金で買った。あなたは自分がとても保守的だと思っている。車のための借金はない。しかし、あなたの知らないところで、ディーラーはあなたの車をセキュリティとしてチェックしているのだ。そんなことは言われぬ。ディーラーは、あなたの車と、彼が販売する他のすべての車を、ローンとビジネスの担保として使用する。今、その小売業者は倒産しようとしている。そして、特定の被担保債権者だけが、司法審査なしに、あなたの車とディーラーが販売したすべての車を直ちに回収する権限を与えられている。このことを説明すると、みんな車のことを心配するんだ。これはクルマの話ではない。これは起きてしまったことの例えだ。文字通り、世界中の証券コンプレックス全体に関わることなのだ。したがって、あなたの資産を失うのは、あなたの支払い能力の欠如ではない。それは、あなたに内緒で、あるいは開示することなく、あなたの担保をこっそり自分の財産として使っていた人々の債務超過である。手の込んだ話だ。そう、法律が改正されたのだ。統一された「商法集」を変えたのだ。これは1994年以降のことだ。そのために何十年もかけて実行された計画があったわけだ。そして、このモデルを世界中の法律に定着させるため、八

ーモナイゼーション・プロセスが開始された。そして、EUを通じてそうした。EUの文書でこのことが最初に議論されたのは2002年にさかのぼる。当時、このプロセスはドットコム破綻の余波の中で始まった。そしてEUは「法的確実性グループ」と呼ぶものを創設した。それもまた、良いことにしか聞こえない。しかし、その意味するところは、被担保債権者が顧客の資産を差し押さえるための法的担保である。モノポリーゲームのようなもので、ボード上のすべての駒のお金が銀行に引き戻される。そして、新しい試合を始めよう、と言う。私たちはすべてを持っていて、あなた方は何も持っていないというところからスタートする。自分用に何か借りたい？そしてそれこそが、中央銀行のデジタル通貨であるCBDC（中央銀行デジタル通貨）なのだ。文字通り食べることができなくなるのだから、CBDCの使用に抵抗するのは非常に難しいだろう。

だからこそ、何が起きているのかを理解してもらうために、事前に意識を高めることが重要なのだ。そして、人々がシステムのトップレベルまで関与できるようにする。システムのトップまで、非常に有能な人材を活性化させる可能性がある。このシステムに反対する人々を団結させる可能性がある。つまり、蛇の頭はあるが、蛇は自分では何もできず、蛇の頭の下筋肉にすべてを頼っているのだ。そして、この意識をこの筋肉にまで押し上げることも仕事の一部だ。だから、自分には力があり、変化をもたらすことができると信じている人々を含め、誰もがそれに対処しなければならない。そして、これは合法的に行われなければならない。合法的な手段で対抗しなければならない。つまり、重要なポジションにいる裁判官や検察官がこのことを知ったらどうなるか、想像してみしてほしい。どうすればこの詐欺システムを廃止できるのか、これまで調査されたことはない。そして、これはあくまで建前なので、そのための方法があるだろう。

デイビッド・ウェブ著の書籍『The Great Taking』と長編ドキュメンタリー映画はこちらでご覧いただけます：TheGreatTaking.com

Quellen / Sources:
The Great Taking
<https://thegreattaking.com/>

<https://childrenshealthdefense.org/defender/great-taking-documentary-global-securities-assets-david-webb/>

<https://www.youtube.com/watch?v=-FyETQS1uQY>

Autor / Author: hm. / dg.